

名古屋陶畫組合同規約 (十二月三日 改正)

12.3.17  
名古屋

第一章 名稱及位置

第一條 本組合ハ名古屋陶畫組合ト稱シ本部ヲ名古屋市ニ置ク  
第二條 本組合ハ名古屋市及ビ附近ニ在住スル陶器畫工ヲ以テ組織ス

第二章

第三條 本組合ノ組合員ノ職業ノ共同ニ依リ技術ノ練磨能率ノ増進生活ノ安定作業ノ改善ヲ圖リ並ニ組合員ノ親睦ヲ圖ルヲ目的トス  
第四條 前條ノ目的ヲ達成スル爲メニ左ノ各種事業ヲ行フ

一 調査部 生活状態並ニ作業條件ノ調査研究及ビ維持改善ノ爲メノ協力  
二 職業紹介 一般工場及ビ畫工ノ依頼ニ應ジ雇入又ビ就職ノ紹介  
三 調停 工場主及ビ組合所屬畫工間ニ紛議ヲ生ジタル場合ハ要求ニ應ジテ解決ヲ扶ケルモノトス

四 共済部 會費中ヨリ一定ノ積立金ヲナシ組合員ノ負傷疾病失業老廢等ニ對シ一定ノ扶助ヲナスモノトス

五 共同購買部 職業用材料及ビ生活必需品ノ共同購買事業ヲ行フ

第五條 共済部及ビ共同購買部細則ハ別ニ之レヲ定ム

第三章 組織

第六條 本組合ノ機關ヲ分チテ左ノ四種トス

一 總會  
二 代議員會  
三 理事會  
四 特別委員會

第七條 總會ハ春秋二期ニ開ク但シ必要ニ應ジ理事會ノ決議或ハ代議員會半數以上ノ要求アル時ハ臨時總會ヲ開催スル事ヲ得ルモノトス

第八條 代議員ハ左ノ割合ヲ以テ選出ス

一 本部直屬組合員ハ二十名ニ付 一名  
二 組合員十名以上二十名以下ノ支部 一名  
三 組合員二十名以上百名以下ハ 三名  
四 組合員百名以上五百名以下ハ 五名  
五 組合員五百名以上ハ二百名ヲ増ス毎ニ一名ヲ加フ

第九條 理事ハ代議員五名ニ付キ一名ノ割合ヲ以テ選舉ス

第十條 理事長ハ理事ノ互選ヲ以テ一名ヲ選出ス

第十一條 理事長及ビ代議員ノ任期ハ一ヶ月トス但シ再選ヲ妨グズ

第四章 組合員ノ資格及權利義務

第十二條 畫工トシテ修業年限滿五ヶ年以上ヲ經過シタル滿二十才以上ノ男女ヲ以テ正會員ノ資格アルモノトス

但シ婦人ニ限リ本人ノ希望アル場合ハ正會員トスル事ヲ得

第十三條 滿二十歳以下ノ男女及ビ修業年限五ヶ年ヲ經過セザル者ハ正會員トス

第十四條 正會員及準會員ハ其ニ本組合ノ規定ニ依ル統テノ會費ニ出席シ發言シ又組合ニ依ル一切ノ保護ヲ受ルノ權利ヲ有スルモノトス

但シ準會員ハ本組合役員トシテ選出セラル事ヲ得ズ

第十五條 本組合ニシテ徒弟ヲ雇入シタル場合ハ直ニ組合ニ届ケ出デ準會員トシテ加入セシムル義務アルモノトス

第五章 支部

第十六條 組合員十名以上ヲ有セル工場ニハ一支部ヲ置ク

第十七條 組合員十名以下ノ工場従業員又ハ自宅業者ハ十名以上共同シテ支部ヲ設ケル事ヲ得

第十八條 支部規定ハ本部理事會ノ承認ヲ得ザルモノハ無効トス

第六章 會計

第十九條 本組合ニ加入セントスル者ハ入會金金參圓ヲ納入スルモノトス

但シ準會員ハ金壹圓也

第二十條 會費ハ一ヶ月金五拾錢ヲ納入スルモノトス

但準會員ハ一ヶ月金貳拾錢トス

第二十一條 本組合ノ經費ハ入會會費臨時寄附金其ノ他ノ收入ヲ以テ支辨ス

第二十二條 入會會費寄附金等ハ一切返戻セズ

第二十三條 役員中ヨリ會計主任二名ヲ置キ會計委員其ノ事務ヲ補佐ス

第二十四條 代議員中ヨリ二名ノ検査役ヲ置ク

第二十五條 會計主任及検査役ハ毎期總會ニ會計決算報告ヲナスノ義務アルモノトス

第七章 加入及脱退

第二十六條 本組合ニ加入セントスルモノハ組合員一名以上ノ紹介ヲ有シ理事會ノ承認ヲ要ス

第二十七條 本組合ヲ脱退セントスルモノハ其ノ理由書ヲ届出理事會ノ承認ヲ求ムベシ

第八章 賞罰

第二十八條 本組合員及ビ關係者ニシテ本組合ノ爲メ又ハ職業上大ナル功勞アリト認めタルモノニハ理事會ノ決議ニ依リ總會ニ於テ表彰或ハ相當金品ヲ贈呈シ感謝ノ意表スルモノトス

第二十九條 會費滞納三ヶ月以上ニ及ビ若シテ本組合ノ規約又ハ決議ニ違反シタル言動アリタルモノハ相當戒告ヲ與ヘ尙改メザル時ハ理事會ノ決議ニ依リ除名ス